

日本放射線腫瘍学研究機構緩和医療委員会議事録

日時: 2018年4月14日 13時30分～14時15分

場所: パシフィコ横浜国立大ホール 3階 N306室

出席者: 鹿間・平安名・中村・高橋・和田・原田・内田・野崎・小杉・永倉(順不同・敬称略)

1:連絡事項

- 事務局から研究費として10万円支給されることが確認された
- JROSG統計コンサルトの室谷先生が久留米医科大学に異動された
- ILROGのセミナーを来年行う
- 一人で複数の部位別委員会に参加できるようになる
- 臨床研究に関する倫理指針が改正される予定。とくに介入試験は厳しくなることが予想される

2:鹿間委員長から、順天堂医院の宮澤先生、川本先生の入会を推薦中

3:JROSG11-1 腎癌骨転移に対する放射線治療とゾレドロン酸併用療法の臨床第II相試験

- 主論文を原田先生が執筆中、総会までに完成をめざす
- 副論文(骨の画像変化)は症例登録をした施設から執筆者を探す
- 日本緩和医療学会で報告(和田先生)

4:JROSG17-3 出血を伴う胃癌への緩和的放射線治療の有効性を調べる多施設観察研究

- すでに6例の症例登録あり。最終的には症例数を増やすことも視野にいれる
- メモランダムを二点追加した
- 有害事象はすべて記載し、放射線治療との関連の有無を追記する
- 国立がんセンター中央病院、都立駒込病院などの参加を促す

5:その他

- 食道がんの通過障害に対するCRT vs RTはどうか。化学療法併用はベッドをもたない放射線科にとってはハードルが高いのではないかと。既報もあり。
- 次回はJROSG総会(7月28日)の時に